

毎号、研究員をクローズアップして、業務内容や仕事に対する思いをご紹介します。



Vol. 08

実証試験セクター
副主任研究員

小船 諭史

工業高等専門学校時代から機械工学を学び、大学では「セラミックスの拡散接合」を研究。趣味は剣道、畑仕事、相撲鑑賞。



「フレームワーク使いこなしブック」
吉澤 準特 / 日本能率協会マネジメントセンター
ISBN 978-4-820-74662-1

この本から学んだ論理的思考が、研究計画づくりに役立っています

いつもは機械に囲まれている生活。休日の農作業はホッとするひとときです



お客さまの課題解決をサポートし、「ものづくり」に関わる実感から生まれるやりがい

個々の製品に寄り添った試験を提案

私は、大手メーカーの企業城下町で育ったため、周囲は理系の大人ばかりでした。壊れた機械を自らの手で直してしまう大人たちへの憧れもあり、工業高等専門学校に進学しました。機械工学の魅力は、何とんでもそれが目に見えて直接、「ものづくり」に関わっている実感を得られることです。

現在、都産技研では、製品強度の測定を担当しています。ひと口に製品強度といっても、引張、圧縮、曲げ、硬

さ、ねじりなどさまざまで、用途によって10種類以上の装置を使い分けています。お客さまは、多様な製品の強度試験を希望されますので、個々の製品に合わせた試験方法や条件を提案しています。

共同研究で開発した製品を実際に目にし、使ってほしい

お客さまへの技術支援を行う一方で、専門分野の研究開発も進めています。行き詰まってしまうこともあります。以前、何かの本で知った「やれることをとことんやって失敗したならば、誰も責め

ない」という言葉を心に刻んで、日々研究に取り組んでいます。

今後の私の夢は、企業と共同研究を行い、自分が関わった製品が市場に出て、世の中の人に使っていただくことです。

東京都の産業を支える中小企業は、得意分野においては、大企業に引けをとらない実力を持っていると感じています。そんな方々の課題解決をサポートでき、実際にそれらの製品を手にできる都産技研での業務は、この上ないやりがいにあふれています。

お問い合わせ 実証試験セクター<本部> TEL 03-5530-2193



管理部門編

総務課
主事

梅津 晴香

都産技研のサービスを支える

私は、総務課庶務係に所属し、食堂・送迎バスの管理や職員研修、健康診断などを担当しています。依頼試験や研究の分野が多岐に渡り、放射線や有機溶剤の特定業務に従事する研究員も多い都産技研において、健康診断は重要な業務の一つです。健康診断の結果を産業医がチェックし、それぞれの研究

員にフィードバックを行うなど、健康管理に気をつけています。

庶務係の業務は、研究員の日常業務と密接に関わっています。直接、お客さまと接する機会は少ないですが、自分の担当する業務が研究員を通じて、都産技研のサービスにつながっていることを意識して取り組んでいます。

お問い合わせ 総務課<本部> TEL 03-5530-2750